

いの流水俳壇

兼題「新年」

友章 水月選

新年の改めて知る陽の恵み

竹崎たかひろ

(評)今年の正月は好天気恵まれて各地で初日の出を拝むことができたことと報じられていたが、同じ日の出を見ても新年では何もかも清新な世界として映る。太陽の光は神々しく、満目を隔てなく照らす陽の光に、暖かさ、恵みを改めて感じた作者である。

元日の曙光は景色も人の心も改まる。原始から太陽は神として祀られてきた由縁である。

○水底に元日の日のあふれけり

大野 林火

神棚に背筋も伸びる初明り

片岡 包女

(評)元日の朝、早く起きて神棚に灯明を上げ、心新たに手を合わせ、旧年の無事息災を感謝し今年の健康安全を祈っている作者。自ずと背筋も伸び神前で祈っている緊張感が伝わってくるのである。

季語の初明りとは元日の朝ほのぼのと射してくるあけぼのの光を言う。

○開け閉めの音を優しく初明り

西山ゆりこ

いくたびの新春が駅長だけの駅

間 浩太

(評)今年も新春を迎えた駅員1人だけの駅である。

伊野駅には、かつては確か5〜6名の

職員がおり、乗客も多く忙しく働いていた。国鉄の民営化と利用客の減少により全国的に大改革がなされ、国内に多くの無人駅や駅員1人だけの駅が誕生してしまった。あれからもう何年になるだろうか、また新年を迎える。往時の賑やかさを思い、寂しくなると感無量の作者である。

○新春や綱紅白に神の牛

中山 咲枝

亡き妻に今年も参る雑煮かな

森岡 照月

(評)元日の朝には雑煮を炊いて神仏に供え、一家揃って今年の家内安全と健康を祈って雑煮をいただくのが日本古来からの習慣であったが、現在はどうなっているのだろうか。作者は数年前に奥さんを亡くされて以来、雑煮をお供えし、亡妻の面影を偲びつつ共にいたたいっている優しい方である。

雑煮は関東ではすまし汁に角餅を入れる、関西では味噌汁に丸餅を入れる風習がある。

我家はすまし汁に角餅であるが県下的にはどうであろうか。

○父の座に父いるごとく雑煮椀

角川 春樹

新年二句抄

熟睡に初夢見ずに終りけり

さうそくに予定で埋まる初曆

少しだけ荷物を移動年新た

術なくて煤払いせず年迎ふ

老の肩寄せ合ふ暮し年迎ふ

元朝やテレビ体操より始む

明けの春黒豆好きな孫と共に

元日やいつものように割烹着

去年今年変らぬ二人老いの坂

長くなる氏神の坂初詣

小野川町子

田蕙恵美子

竹崎 光子

川村 博子

岡村 嘉夫

切々と雲流るるやなずな粥

松尾満津於

初詣杉の木立にふかみどり

句に切れ字家族に折目年新た

新春や神鈴の伝わりくる

松の内明けるを待ちて医者通い

お目出度うそと呟く初雀

ベルト穴ひとつ増やして賀状書く

去年今年心の青春、つまでも

添書きの一言うれし年賀状

巻きぐせを伸ばし伸ばして初曆

鏡餅について

つぎつぎに子等家を去る鏡餅

正月飾りの中で代表となるのは鏡餅である

これに飾る習慣は日本古来の伝統的なものとして、今も多くの家庭で行われている

鏡餅の丸い形は家庭円満を表し、1年をめでたく重ねるとい願いを込めて重ね、橙は代々繁栄が続くように、また干柿は万物を掻き集めるように、そのほか昆布、海老、裏白(しだ)、ゆずり葉、末広(扇)など、長生きするなどの縁起ものとして飾られる。

兼題 「新年」について

俳句歳時記(角川)によると季語の新年は時候の部(新年、元日、正月など)、天文の部(初御空、初風など)、地理の部(初景色、初富士など)、生活の部(若水、門松、注連飾、書初など)、行事の部(四方拝、成人式、七草粥など)、動物の部(ねずみ、初鶏、初雀など)、これらの分類にわたってたくさんあるのが特徴である。

次 題 「当季雑詠」五句

締め切り 毎月五日

投句先

社会教育課

いの町3597

電話 893-2012

今月のごども川柳

カレンダー どんどううすく なつてきた

川内小 4年 筒井 咲希

(評)日めくりカレンダーが浮かんでくる。どんどん薄くなり二年が終わる。見えない様でちゃんと見ているのが子どもの視線。昔から子は鏡と言われてきたが、親として、大人として考えさせられる小学生の川柳の素敵な句。

大みそか 年に一度の 夜ふかしだ

川内小 6年 矢野 花音

(評)大みそかは二年の終わりの夜、12月31日である。家族全員が揃って年の無事を喜び、新しく迎える年への夢や希望を話し合う夜ふけ、その中で家族の絆が育てられる。ありふれた夜の灯りに味わい深いものがある。

はれの日は でんきをけして エコしよう

川内小 2年 森 しおり

つらいこと たのしいことに かえようよ

川内小 3年 宮脇 大耀

おおさむい はあつとはいたら 白いいき

長沢小 1年 山中きようすけ

おとしだま 中をあけると 一万円

川内小 2年 林 いぶき

いちようの葉 きいろにかわつて オシヤレする

吾北小 3年 竹本 晴瑠

かさじぞう ゆきののはんてん さむそうだ

川内小 1年 市川 あい

ゆきふつて 冬の定番 ゆきだるま

長沢小 4年 川村 瑞穂

ランドセル びかびかひかる たからもの

川内小 1年 よこばたけゆう

※「ごども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。平成26年度初提出締め切りは5月12日(月)です。たくさんの方の皆さんの応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通してお願いします。)

※ 選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。